



新人戦に向けて 勝利目指し力の限り

鶴岡中央高等学校 — 女子バドミントン部 —



【鶴岡中央女子バドミントン部メンバー】

佐藤 愛純 (2年) 鶴岡五中	安達 小羽音 (1年) 鶴岡三中
佐藤 ななせ (2年) 鶴岡三中	大泉 南菜 (1年) 鶴岡五中
大瀧 結愛 (2年) 鶴岡一中	齋藤 美優 (1年) 鶴岡五中
百瀬 心奈 (2年) 鶴岡三中	真田 瑞音 (1年) 鶴岡一中
渋谷 彩歌 (2年) 鶴岡四中	伊藤 雪那 (1年) 鶴岡二中
五十嵐 穂乃香 (2年) 鶴岡二中	遠藤 菜穂 (1年) 鶴岡二中
齋藤 なごみ (2年) 鶴岡三中	加藤 美桜 (1年) 鶴岡二中
三浦 希実 (2年) 鶴岡三中	佐藤 瑩乃 (1年) 鶴岡五中

目標は優勝 東北も視野 チーム一丸 支え合い

部員は1年生と2年生それぞれ8人ずつの合わせて16人（そのうち1年生2人、2年生2人の計4人はマネジャー）。9月11、12の土日
に鶴岡市小真木原総合体育館で予定する田川地区新人戦に向けて練習
を重ねている。

目標は地区大会で優勝すること。県大会で3位以内に入り、東北大
会の出場権を獲得することが大きな目標だ。

部員のほとんどが中学校からのバドミントン経験者。顧問の伊藤美
奈子教諭は「1年生もだいぶ力を付けてきた。全体的にレベルは上が
っていると思う」と評価する。

コーチ3人の指導を受け平日は2時間、休日は3時間の練習に汗を
流している。キャプテンの齋藤なごみさん（2年）は「いつも試合を
しているのと同じ気持ちで練習するよう心掛けている。技術面もメン
タル面も強くするために」と話す。

東京オリンピックのバドミントン競技では「山口茜選手の最後まで
諦めない姿が響きました。相手が打ったシャトルを飛び込んでまで打
ち返すようなプレーを私もしなければ」と思ったという。

チームの良さは「つらくてもみんな支え合い乗り越えられる元気
さ」。チーム一丸となって目標の達成を目指す。

女子バドミントン部、
新人戦に向けての
意気込みを語る。
庄内地区高校新

庄内日報

掲載：令和3年8月29日